赤ちゃん	性別	出生月日	父	母	地区
中平 周吾（しゅうご）	男	3.8	正浩	麻衣	(山)東本町2
本間 尚陽（たかはる）	男	3.14	康	香菜	(香)上町
山本 尚生（なおみ）	男	3.22	真也	景子	(山)旭町4
横山 大悟（だいご）	男	3.22	太郎	桂子	(山)百石町1
今窪 祐葵（ひろき）	男	3.30	英二	育美	(山)中村3

ご冥福をお祈りします

お名前	性別	亡月日	享年	地区
山﨑　幸信	男	3.1	67	(香)南岩改
尾知　晴子	女	3.1	92	(香)吉野
中西　智子	女	3.3	47	(山)黒土2号
小松　繁廣	男	3.3	94	(物)中津尾
岩越美惠子	女	3.4	89	(物)南組
櫑尾　秀	女	3.5	92	(山)松本
近森　隆乃	女	3.6	97	(山)北滝本
吉川　友真	男	3.7	76	(香)根須
前田　重雄	男	3.7	87	(山)予岳
恒石　進	男	3.7	89	(物)塩
小松　春惠	女	3.8	97	(物)岡ノ内
恒石　國喜	女	3.10	90	(香)久保川
池脇　正博	男	3.12	90	(山)神母ノ木
遠近しのぶ	女	3.13	62	(山)下ノ村
川村登志男	男	3.13	66	(山)神母ノ木
山中　益子	女	3.14	81	(物)栄町
田口　千惠	女	3.14	99	(山)伏原
山本　幸生	男	3.19	69	(山)北本町1
門田　武雄	男	3.19	84	(山)杉田
土方　和郎	男	3.21	91	(山)京田
椎野　淳乃	女	3.22	88	(山)栄町
増井　益三	男	3.24	89	(山)宝町2
岡林　忠輝	男	3.27	84	(山)北本町3
松岡　茂男	男	3.28	69	(山)北滝本
安岡桃太郎	男	3.28	90	(山)間
西山千鶴子	女	3.30	94	(山)間

※地区名の(山)は土佐山田町、(香)は香北町、(物)は物部町です。
※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

市の人口 平成２８年４月１日現在

総人口	26,743人	男	12,485人	女	14,258人
前月比	−117人		−81人		−36人
山田	20,053人	香北	4,674人	物部	2,016人
前月比	−91人		−13人		−13人

世帯数	12,911世帯	転入	76世帯	３月届出 出生	6人
前月比	−34世帯	転出	104世帯	３月届出 死亡	37人

木材市況

4月8日第265回市（物部）
3月28日第 26回市（香美）

材長	樹種 / 径級	スギ（円／m³）直・小曲	スギ（円／m³）曲	ヒノキ（円／m³）直・小曲	ヒノキ（円／m³）曲
4m	12cm下	9,000	8,000	12,000	12,000
	13cm〜14cm	10,000		13,500	
	15cm〜16cm	11,500	9,000	18,000	14,680
	18cm〜22cm	14,500	12,000	17,000	14,680
	24cm〜28cm	14,500	12,000	16,500	14,680
3m	12cm下	8,000	7,000	12,000	12,000
	13cm〜14cm	8,500		12,500	
	15cm〜16cm	11,000	8,500	16,500	13,500
	18cm〜22cm	11,500	10,000	16,500	13,500
	24cm〜28cm	12,000	10,500	16,000	13,500
2m	24cm上	8,500	8,000	12,000	8,000
6m	18cm〜22cm	19,000	16,000	26,000	23,000
市況	物部	スギ、ヒノキ共に柱上、やや下相場。元類は保合。4月に入り暖冬だった影響から虫害が早いと懸念されています。伐採後は早期出荷をお願いします。			
	香美	入荷量は引き続き順調。ヒノキの小径木は強保合。スギ4m材は保合、3m材は弱保合です。ヒノキの14cm下は3m造材、15cm上は4m造材が有利。			
営業時間		月曜日 〜 土曜日 8時 〜17時（祝祭日休み）			

なお、上記の単価は１m³あたりの平均単価です。
【問い合わせ先】
物部森林組合ストックヤード
（物部町中谷川３１４）☎５７−３５４０
香美森林組合国見支所／繁藤ストックヤード
（土佐山田町繁藤１４０−７）☎５７−９１１４

【短歌】 岡崎　桜雲　選

老人に声かけレジを打ちし人笑顔で背なに荷をかけてやる　中村　紫乃
中山間五年の制度どう進む八十路の身には思いあぐるる　五百蔵利美
テレビにてヤバイ・ウメエを連発す吾の嫌いな大嫌いな言葉　楮佐古きよ
デイと言う生甲斐（いきがい）のあり今日もまた花吹く風を車窓に受けて　小松　隆之
七キロの狸の道を幼等が寺の保育に通いし実話　森本　幸美
オクラ播（ま）くハウスの傍に愛犬は連れられて来て掘る春の土　岡村　敏子
還り来るつばめのために作業場の戸を開けたりと老妻（つま）の呼ぶ声　都築　忠義
紅梅とまがう桜花を子にすがり見上げつつ歩くこの幸せよ　盛岡　雛子
うす青く枇杷（びわ）は冬実を肥やしゐて内戦の惨は知らざるわれら　大岸由起子
過行きに少しの自負と悔もあり模索どこまで馬酔木（あせび）咲き始む　岡田美代子
野を山をかけずり廻（まわ）りすり傷のたえる事なき遠き思い出　岡本　初美
又一つ思いを捨てて生きなむか風邪の癒ゆるも長くかかりぬ　坂上のぶ子
いくたびも時はめぐりて約束のあるかのごとく桜散りゆく　山﨑　貴子
年毎に背丈縮まりゆくわれの見上げる孫を頼もしと見る　小松　敏子
ご無沙汰の年老いし人に電話するベルの音しばし待つ間むなしく　小野寺朱実
美しき心を求めて咲く花を手折（たお）りし人の心寂しむ　門脇　千代
雨は降る外の気色が見えぬ程風吹き荒れて今日の過ぎゆく　高田　清子
野々の里純信堂に秘話聞けば冷たく吹くや如月の風　山本登美子
幸ちゃんともたれて語ったあの堤今年も卯（う）の花咲きあふれるや　韮生　灯
軒端に干し大根の香りして在りし日の祖母しのびいるなり　公文　千恵
すいせん花あまき香りに頬寄せて重ねし歳を寿（ことほ）ぎており　谷内　務
町を呑みうねる津波よ嗚呼（ああ）我は布団の中にそれを見ている　吉本　悦子
一弦琴春よいやみにいち音の凛（りん）とひびける旋律つづく　小松　禮子
自己主張するにはそれぞれ理（わけ）のありクリスマスローズ俯（うつむ）きて咲く　大石　綏子
かつて娘は雛飾る時弟にせがまれ怪獣もしぶしぶ置きぬ　古川　安子
春彼岸孫も曾孫も参りくれ墓もにぎわう一日（ひとひ）となりぬ　林田　幸子
孫曾孫の声に囲まれ法要に母の遺影は微笑みてゐる　武内　弘子
昼の間はもう初夏のよう三月の半ばというに背中汗ばむ　松中　賀代
老いし吾確定申告やっと書く還付通知のとどきて万歳　門田　明子
「あなたより十年も長く生きてます」姑（はは）の墓石を心こめ洗ふ　公文　正子
ペンキャップはづして被せ得意なりしばし見ぬ間の二才のしぐさ　小松もとみ
澄み切った蒼い空には鳶（とび）の声墓地より見下ろす宇佐の町並　伊藤　清子
岬いくつ越えて東に赤葉島藻のうつくしき島にありにし　佐竹　玲子
かの時の記憶甦るこの一枚見上げし蒼き空の色まで　都築　初代
父母に貰（もら）いし水仙年毎に増えて今年もポストの下に　古谷　由美
厄除けの儀式の間をふざけいる息子二人を叱りしははるか　佐々木真里
一月にケナフの幹はまだ枯れず吾が体験の初めての事　宮地　亀好
一枚のセピア色した写真あり良妻賢母の教えを胸に　刈谷美代子
銀舎利と言はれし昔の話説き子らに新米贈りてやりぬ　岩井　純子
折り紙で伝える平和の千羽鶴願いをのせて羽ばたきゆくや　秋　星
それぞれの特産並べて賑（にぎ）わいぬ楽し旨しのふるさと祭り　野村　典子
途切れなき拍手ひときは白たすき新郎新婦の塩たたき焼く　町　耿子
たまわりし友の手造り無花果（いちじく）のジャムの香りを楽しむ朝餉（あさげ）　明石　敬恵
八十歳誕生日にはプレゼント祖父に渡して私も笑顔　吉川　恵
祝（ほ）ぎ事の予定次つぎカレンダーを埋めて春の足音そこに　岡崎　桜雲

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月１日までに、ご応募ください。
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782−8501（住所記載不要）　FAX 53−5958